

5分で読める！ 認定こども園向け経営レポート

0~2歳向け親子教室だけからの脱却！

2歳児向け

入園率
100%!

1号認定募集定員
60%が確定!

月額**10,000円**
週**2日**コースに
申込殺到!

母子分離型未就園児教室を
実施して**3年連続でキャンセル待ち**になった秘訣

認定こども園だから出来る！子育て支援と募集安定を同時に実現！



先進モデル事例

茨城県水戸市 園児数270人の認定こども園

学校法人リリー文化学園

認定こども園フォレストリリー リリーの森幼稚園

園長 羽生 美穂 氏

茨城県水戸市を中心に認定こども園を3園展開している学校法人リリー文化学園は、リーダーシップ教育を実践している。平成24年度から2歳児向けの母子分離型未就園児教室「プレスクール」を実施して、毎年多くの入会希望者を創出している。年少定員は60名だが、3割以上はプレスクールからの入園で、園児募集やクラス運営の安定化につながっている。

先進モデル事例経営レポートは中面をご覧ください



学校法人リリー文化学園

認定こども園フォレストリリー リリーの森幼稚園

茨城県水戸市を中心に認定こども園を3園展開している学校法人リリー文化学園は、リーダーシップ教育を実践している。平成24年度から2歳児向けの母子分離型未就園児教室「プレスクール」を実施して、毎年多くの入会希望者を創出している。年少定員は60名だが、3割以上はプレスクールからの入園で、園児募集やクラス運営の安定化につながっている。

親子教室を実施しても入園につながらなかった・・・

当園は平成25年から認定こども園に移行しました。旧制度上での認定こども園としてスタートしています。移行した理由は、おそらく皆さまと同じだと思います。少子化に伴い、このままでは園児数が減少してしまうという危機感がありました。そこで、より低年齢児からの受け入れを検討しなければ園の経営が成り立たなくなってしまうと考え、0-2歳児も受け入れることができる認定こども園に移行しました。

それ以前も幼稚園として、毎年の園児募集に力を入れていました。当園では、平成16年度から親子教室を実施しており、地域の未就園の親子が気軽に遊びに来ることができるようにしました。恐らく、この地域では、一番早く親子教室に取り組んだのではないのでしょうか。

初年度は試行錯誤の連続で苦労しましたが、周辺に同じような取り組みをしている園がなかったこともあり、たくさんの親子が参加してくれました。

結果、その年の園児募集は成功に終わりました。例年にはないほどの願書提出に繋がり、ホッとしたことを覚えております。

しかし、その翌年度からの募集は安定しない状況が続きました。親子教室の参加者が入園につながらないのです。子育て支援として活用していただき、当園の取り組みによって保護者様や子どもたちが喜んでくださるのは、とても嬉しいことです。ですが、やはり入園につながらないと、当園としては少し困ってしまいます。

より入園率を高めるためにはどうすればいいのかと考えた末に、現在行っているプレスクールという2歳児向けの母子分離型の未就園児教室を始めることにしました。

週2日、1日4時間、月額1万円の未就園児教室を！

プレスクールという名称で2歳児向けの母子分離型の未就園児教室をスタートさせました。当園では、子どもたちの落ち着き具合や成長性を一番に考えて、1日4時間かつ週2日コースのみで募集を受け付けております。多くの幼稚園や認定こども園では、週1日や1日1時間半程度の未就園児教室を実施されているケースが多いようです。もちろん、それでも子どもたちは集団生活に慣れることができ、十分成長してくれます。しかし、より充実した成長を目指すには、少しでも長い時間、かつ頻度が多い方が良いのではと考えました。とはいえ、プレスクールを運営するには、カリキュラムや空き教室、職員の問題など、かなりのハードルがありました。

■リリーの森幼稚園プレスクールの概要

■目的：「集団生活の体験とお子様の個性をプレスクールで伸ばす」

リリーの森幼稚園の生活環境に慣れ、同じ年齢の友だちと遊ぶ楽しさを味わいながら就園準備をする場として設定している

■開催場所：リリーの森幼稚園保育室(学童保育室と兼用)

■保育時間：4・5月 9:00～11:00 6月以降 9:00～13:00

■クラス編成：火曜日・木曜日コース、水曜日・金曜日コースの2クラス

■回数：年60回(週2日)

■定員：各クラス16名

■費用：入会金5,000円、月額保育料10,000円(※おやつ代、教材費込み)

職員やカリキュラム策定の準備は大変でした。2歳児の子どもは、歩く、走る、飛ぶなどの基本的な運動機能や指先の機能、また自立のための身体的機能の発達が著しい時期です。それらの発達を援助しつつ、個々の成長を見守っていくことが大切だと考え、上記の目的に沿ってプレスクールの運営を考えてきました。



写真) 指先で触れる、感じるといった体験・体感型の教育活動を中心とした2歳児プログラムを策定している。

プレスクールの一日は、幼稚園児とほぼ同じリズムで運営する

プレスクールでの1日の流れは、

在園児のものとはほぼ同じ流れです。

基本的には、自由遊び、朝の活動、

主活動、昼食、帰りの活動となっ

ております。集団生活に慣れる、あるいは入園後の生活に抵抗を持たないためです。

当園は満3歳児入園も実施しておりますが、どうしても1号認定の利用

定員上、受け入れられる人数に制

限があります。そのため、満3歳児

入園を希望していたものの、入園

できない場合における受け皿とし

ての機能も果たしています。満3歳児入園した園児、3号認定の2歳児、プレスクールの子どもたちが年少

になってからの育ちに大きな差が

生まれないよう配慮した結果です。

こうすることで、入園してからの

子どもたちの落ち着き具合が異なり、年少クラスの保育の安定化、

職員の保育負担の軽減にもつな

がっています。

■プレスクールの一日の流れ

9:00	●	・登園(保護者による送迎) ・自由遊び
9:30	●	・片付け ・トイレ(トイレトレーニング)
9:50	●	・朝の活動
10:10	●	・主活動
11:40	●	・昼食
12:20	●	・トイレ/帰りの準備
12:30	●	・帰りの活動
12:45	●	・担任から保護者へ説明
13:00	●	・降園



写真) 主活動での保育風景。前日降った雪が残り、子どもたちは雪や遊具で遊んでいる。この日は外遊びの前に「雪」、「冬」を題材とした主活動を行っており、冷たい氷を触らせるなど、五感を育む教育が中心だった。

保護者に教育内容を理解してもらい、成長を実感してもらう

認定こども園ではありますが、昔から受け継いでいる幼稚園の教育を保護者にきちんと実感してもらうために、園側が保護者へ教育活動に関する説明を行うことは重要だと考えています。母子分離型の未就園児教室ですから、保護者に説明する機会を自分たちで作らなければ、保護者が理解する機会は極端に減ってしまいます。

そのため、当園のプレスクールでは、保育終了後に保護者の皆さまにお集まりいただき、その日に取り組んだ活動内容やその活動における教育的な要素は何か、活動中の子どもたちの様子や反応、ご家庭で子どもに対して実施してほしい声かけや質問などをご説明するようにしています。

このような取り組みを行うことで、保護者の皆様には、プレスクールでの教育活動の意義や目的、お子さんの成長等を実感していただきやすくなります。

また、毎月、園だよりのような格好で、プレスクールニュースという保護者向けのお便りを作成しています。お知らせやお願いなどのほかに、その月の子どもたちの様子や幼児教育の考え方などを綴っています。併せて、プレスクー

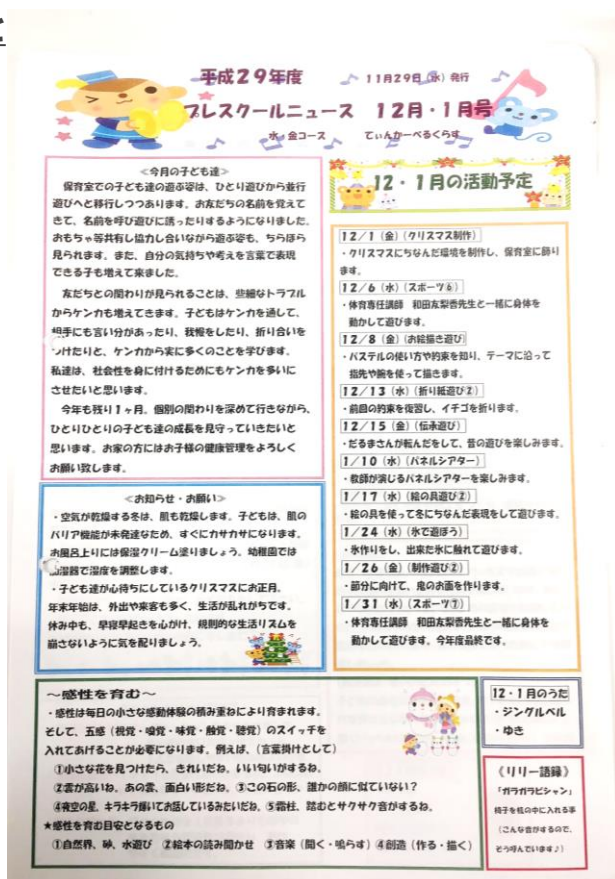


写真) 保護者向けに毎月発行しているプレスクールニュース。内容は、今月の行事やお知らせなどの事務的なものから、リリーの森幼稚園としての教育への考え方、教育活動の意義や目的など多岐に渡っており、保護者と園のコミュニケーションツールとして機能している。

ルで扱っている言葉も「リリー語録」といった形でコラムとしてご紹介しています。こうすることで、保護者の方もご家庭でプレスクールと同じ言葉を使いながら、お子さまと会話ができます。

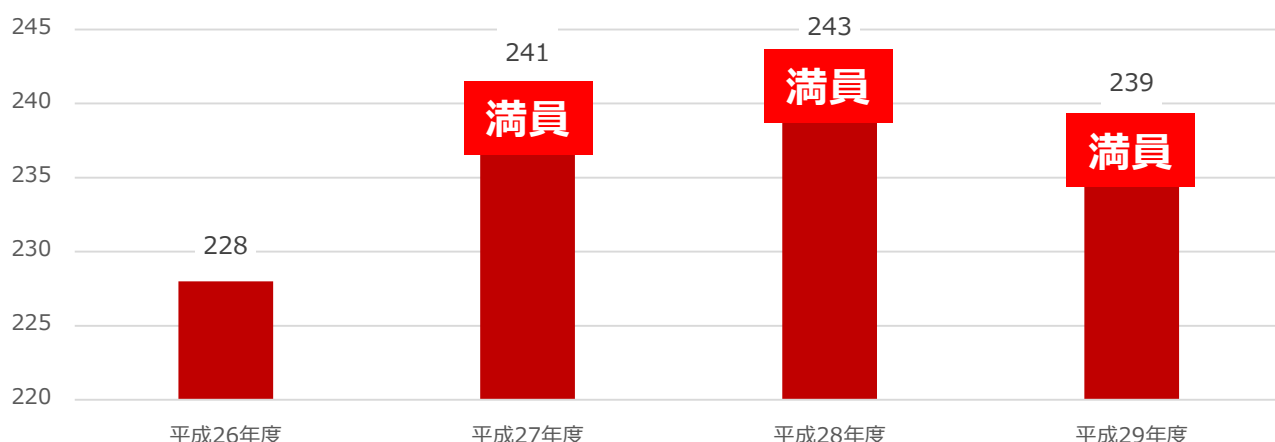
申し込み当日に定員が埋まるプレスクールに！

認定こども園に移行する前は、毎年40名～50名程度、一般から入園者を募る必要があり、一時は募集に陰りがありました。プレスクールの定員を増やそうにも、空き教室や職員の問題などがあり、簡単にはできません。そのため、一般からの願書提出が出揃うまで、不安な状況が続きました。

しかし、認定こども園に移行してからは2号認定、3号認定との定員の兼ね合いで、一般募集すべき人数が15～20名程度になりました。プレスクールに入会しない弟妹や一般からの入園も受け入れることで、自然と募集定員に達します。本来であれば、プレスクールと満3歳児クラスのみで3年保育の募集定員を満たすことができればもっと良いのかもしれませんが、「あの園は入園できない」という口コミが広がってしまう可能性もあるため、現状では一般からの受け入れもできるようにしています。

■認定こども園リリーの森幼稚園の園児数推移（3-5歳のみ）

※平成25年度に認定こども園に移行済 利用定員の関係で園児数は前後するものの、平成27年度より3年連続で募集定員が（人）満員となっている



入園時には幼稚園生活に慣れているため、職員の負担が軽減！

プレスクールを経て入園する子どもたちは、慣れが早く、職員たちもクラス運営がしやすくなっています。昨今の保育士不足を発端として、保育教諭の採用も困難を極めています。良い人財を採用しようとしても、思い通りにいかないことも多くあります。新卒で採用した学生に担任をお願いしますケースも多くなるでしょう。その際に、プレスクールや満3歳児入園を経た園児が多いと、クラスが飛躍的に安定するようになります。

園児募集を目的として始めたプレスクールですが、園の運営安定化を図るためには欠かせない事業になってきています。できれば、プレスクールの定員をさらに増やしていきたいという思いもありますが、職員体制や空き教室の状況を考えれば、現状が精一杯です。むやみに定員を増やして、プレスクールの質を落としてしまっては元も子もないですからね。（笑）



写真）主活動時の教室の様子。各テーブルに職員が配置されており、集団生活を基本としながらも手厚い保育が提供されている。3学期になれば子どもたちも大分落ち着いており、年少クラスと見間違うほどである。



写真）昼食時の教室の様子。園児は自園調理の給食だが、プレスクールの子どもたちは各家庭からお弁当を持参してもらうことになっている。

認定こども園経営特別コラム

認定こども園が母子分離型未就園児教室を実施しなければならない理由

株式会社 船井総合研究所
教育グループ こども園チーム
チームリーダー 島崎 卓也

ここまで本レポートをご覧いただきましてありがとうございました。私は株式会社船井総合研究所の島崎と申します。認定こども園や幼稚園に特化して経営のサポートをさせていただいております。

ご覧いただきました学校法人リリー文化学園様での取り組み、いかがでしたか？率直に申し上げて、私は素晴らしい取り組みであると考えております。認定こども園として、あるべき姿で経営をされていると思います。

私もお付き合いさせていただいている認定こ

ども園様の状況を伺うと、**園児募集に関しては、移行する前よりも改善されているケースがほとんどです。それまでの幼稚園のように、毎年80～100名(規模にもよりますが)の園児を募集しなければならないという状況ではなくなっています。**ただ、幼稚園から移行した case だと、**1号認定の募集を続けていかなければならないですし、1号認定が激減していくことも皆さんが感じられている通りの状況**です。

この問題をいかにしてクリアしていくか。このヒントがリリー文化学園様の取り組みに秘められています。次ページから解説させていただきます。



島崎 卓也 (しまざき たくや)

船井総合研究所こども園チームのチームリーダーとして、全国の認定こども園や私立幼稚園における運営安定化や園児募集のサポートをしている。認定こども園移行に関するコンサルティング実績は社内でも多く、その移行手法には定評がある。



認定こども園経営におけるキーワードとは？



1. 働き方改革（業務効率化）

2. 教育力のさらなる向上

3. 1号認定の園児募集（低年齢児との関わり）

皆さまの園でも認定こども園に移行してから、園の経営や運営方法が幼稚園(保育園)の時とは大きく変わったことと思います。私たちの会員様にお聞きしても同様です。特に変わったことは、職員の働き方と教育・保育に対する考え方、園児募集の方法の3つでしょう。そして、この3つが認定こども園経営におけるポイントとなります。

今回ご紹介した母子分離型未就園児教室は、これら3つのポイントを全て押さえることが出来る事業です。

冒頭の学校法人リリー文化学園様の事例をご覧いただければお分かりかと思いますが、2歳児向けの母子分離型未就園児教室を実施することで、「入園する園児が落ち着いている」、「保護者に教育理念や活動を理解してもらえる」、「1号認定の募集が安定する」という成果が得られています。



入園見込み園児を100%集めきることができるか！？

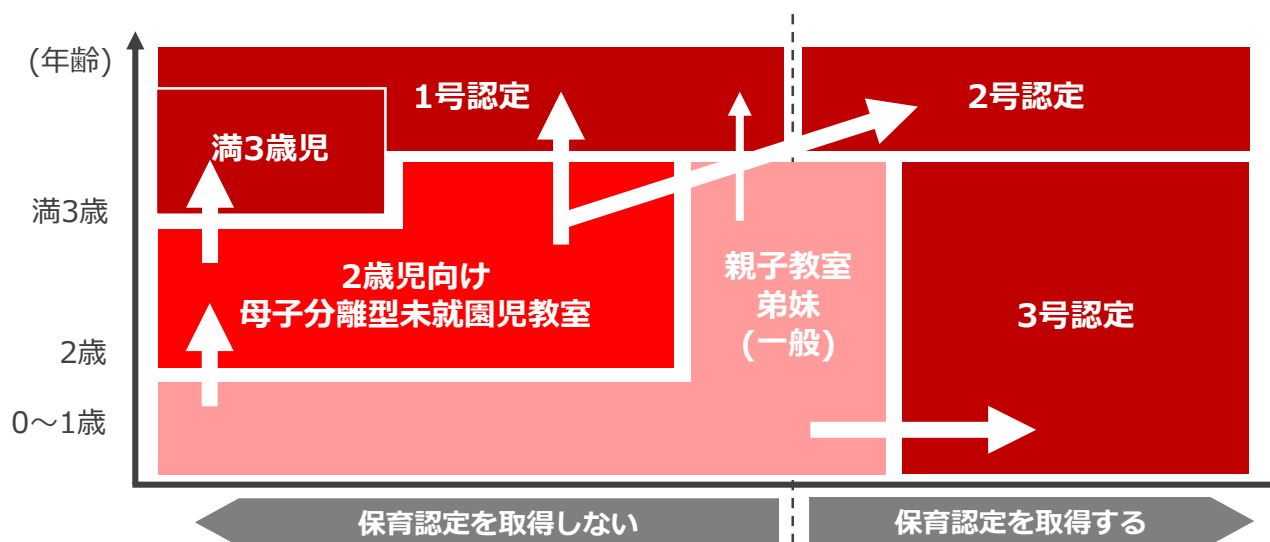


多くの幼稚園や認定こども園では2歳児向けの未就園児教室を親子教室型で実施しているケースが見受けられます。

それでも入園率が高いケースもあるかと思いますが、親子教室の場合、入園率は「その園の評判」に左右される場合があります。

母子分離型で実施することができれば、入園率は高まります。認定こども園の場合、3号認定の2歳児を受け入れているケースが多いため、2歳児の母子分離には園として対応することが可能になります。

■認定こども園における園児募集の流れ



また、満3歳児クラスと2歳児母子分離型未就園児教室の定員を合計したときに、1号認定の年少募集定員のほとんどを占めることができれば、募集は安定しやすくなります(できれば70%以上)。一方、子育て支援事業や弟妹、一般からの入園も可能にしておくことで、「あの園は入園できない」という悪い評判が広がる可能性も低くなります。さまざまな観点から、自園にとって最適な定員設定を目指しましょう。

Check!

母子分離型未就園児教室で押さえるべきポイント



1. 場所

2. 担当職員

3. カリキュラム

4. 1号認定園児募集 (低年齢児との関わり)

母子分離型未就園児教室を実施するに当たり、上記4点を意識して教室を展開していただく必要があります。場所については、空き教室がない場合は難しくなってしまいますが、園舎を新築された場合には、多目的室やランチルームなどを整備されているケースが多いため、そういった場所を活用することも検討しましょう。

特に押さえるべき点は、担当職員を誰にするかです。集団生活に慣れていない園児を保育することは相当なスキルが求められます。しかし、以前勤務されていた職員の中で、子育てを理由に退職された方がいらっしゃるかと思います。学校法人リリー文化学園様でも、以前勤務されていた主任クラスの方に復帰していただいて、母子分離型未就園児教室を担当していただいています。

皆さまの園にも、そのような優れた元職員の方々がいらっしゃると思います。「正規職員での復帰は難しいけど・・・」という方々に復帰していただける環境づくりの一環にもなるのではないのでしょうか？

■母子分離型未就園児教室の運営イメージ

- 職員配置：園児4～5名に職員1名が理想(15名定員で3名体制)
- 担当職員：以前、園に勤務していて産休、育休で退職した職員(復帰してもらう)
- 担当職員の勤務時間：9時～15時を中心とした非常勤でOK
- カリキュラム：満3歳児向けに実施している教育内容、五感を育む体験教育中心

Check!

地域のどの園よりも子育て支援に注力する！

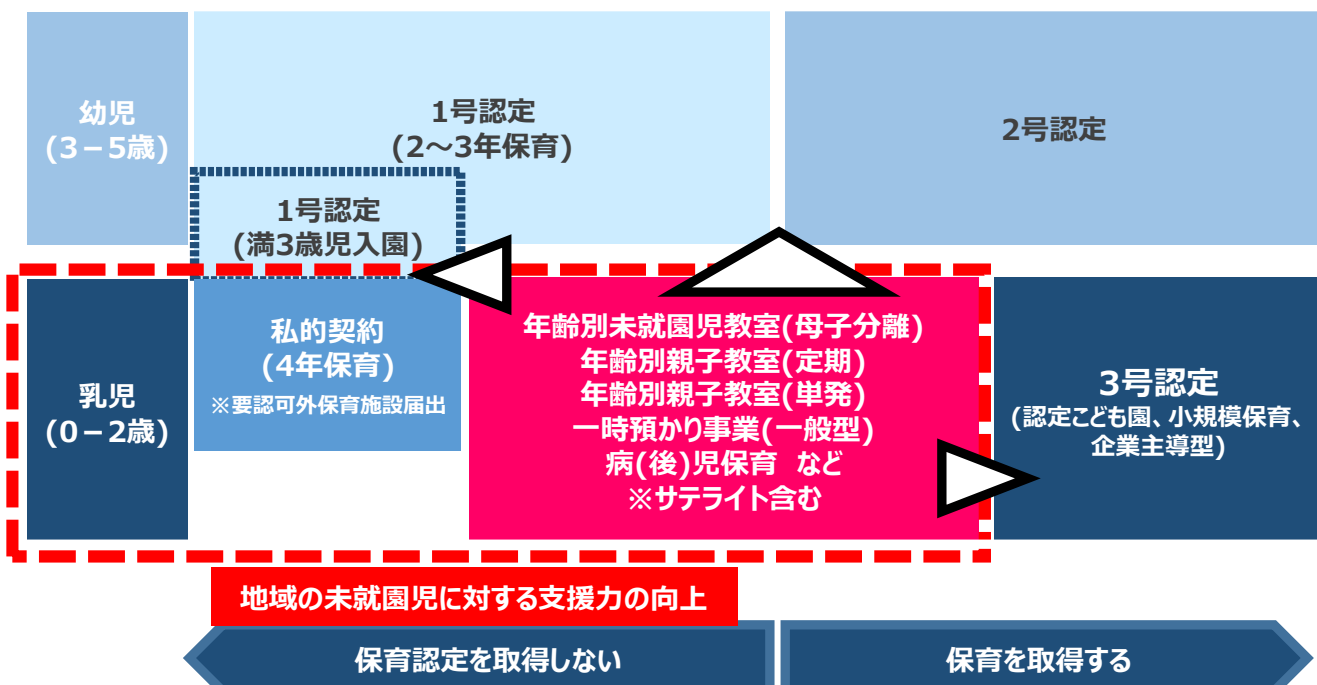


最近、多くの園のホームページで「子育て支援」の打ち出しが色濃くなっているように感じます。地域の幼稚園や保育園、認定こども園が各地で子育て支援を実施されていることは、子育て中のお母さんからすると良い傾向です。

しかし、認定こども園の場合は0－5歳のあらゆる子どもたちが通える施設として、地域のどの園よりも子育て支援に注力していくことが必要です。幼稚園の場合、どうしても保育ニーズのある子どもたちに対応することは難しいですし、保育園の場合は、自治体による利用調整の兼ね合いで、子育て支援に注力しても、入園に直結しない場合もあります。

あらゆる未就園の親子に対して、子育て支援を提供することができるのが認定こども園です。特に、保育認定を取得しない3歳未満児を持つ保護者はリフレッシュの機会を求めています。母子分離型未就園児教室は、そういった保護者のニーズにも答えることができます。

■認定こども園が目指すべき子育て支援の全体像



本レポートをご覧いただいた皆様にご案内です！！

本レポートの特集でご紹介した 認定こども園フォレストリリー リリーの森幼稚園様に ご講演いただけるセミナーを開催いたします！

本レポートでご紹介したリリーの森幼稚園の羽生園長をゲスト講師としてお招きして、セミナーを開催いたします。本セミナーでは、2歳児向けの母子分離型未就園児教室を実施するためのノウハウをお伝えします。一部、**利用定員の設定**の考え方や**保育料金設定**の考え方といった、**園の経営全般に関わる内容に触れるため、理事長や園長にご参加いただく**ことをおすすめいたします。

Check!

セミナー当日にお伝えすること



- 認定こども園としての園児募集の全体像
 - 2歳児向け母子分離型未就園児教室の作り方
 - 母子分離型未就園児教室で実施する教育プログラム
 - 未就園児に対する保険や必要となる届け出とは？
 - 母子分離型未就園児教室における料金設定
 - 未就園児教室の集客方法
 - 保護者満足度を高める！教育効果を訴求するツール類
 - 未就園児教室の質を高める会議体とは？
 - 担当職員の採用手法
 - 保護者が未就園児教室に求めていることとは？
 - 入園を意識させるために必要なこと
- 等、他多数

1・2歳児向け未就園児教室改革セミナー

4月11日(水) 13:00~17:00

場所：TKP東京駅前カンファレンスセンター5A

先着30名のみ

の限定セミナーです！別紙の申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。お早目のお申込みをおすすめいたします。

講座構成	講座内容	担当講師
第一講座 13:00~13:50	<u>認定こども園における未就園児教室の重要性</u> ・最近の認定こども園における業界動向 ・認定こども園における園児募集 ・母子分離型未就園児が求められる理由 等	 株式会社船井総合研究所 教育グループ こども園チーム チームリーダー 島崎 卓也
第二講座 14:00~15:00	<特別ゲスト講演> 認定こども園フォレストリリー リリーの森幼稚園におけるプレスクール運営方法	 学校法人リリー文化学園 認定こども園フォレストリリー リリーの森幼稚園 園長 羽生 美穂 氏
第三講座 15:10~16:30	<u>母子分離型未就園児教室導入ノウハウ大公開！</u> ・未就園児教室における料金設定 ・提供するカリキュラム、プログラム ・未就園児の募集方法 ・保護者満足度を向上させるポイント 等	  株式会社船井総合研究所 教育グループ こども園チーム チームリーダー 島崎 卓也 朝倉 智明
第四講座 16:40~17:00	<u>認定こども園の経営を安定・発展させるために</u>	 株式会社船井総合研究所 教育グループ こども園チーム チームリーダー 島崎 卓也



開催要項

東京会場

日時・会場

2018年4月11日(水)

TKP東京駅前カンファレンスセンター
カンファレンスルーム5A
〒103-0028
東京都中央区八重洲1丁目5-20
石塚八重洲ビル4階(事務所・受付)
JR東京駅八重洲北口から徒歩1分

開催時間

13:00
17:00
受付12:30～

お申込期限：4月10日(火)17:00まで

諸事情により、やむを得ず会場を変更する場合がございますので、会場は受講票にてご確認ください。また、最少催行人員に満たない場合、中止させていただく場合がございます。尚、中止の際、交通費の払戻し手数料等のお支払いはいし兼ねますので、予めご了承下さい。

受講料

一般企業：(一名様)30,000円(税抜)(32,400円(税込))
会員企業：(一名様)24,000円(税抜)(25,920円(税込))
※お振込みの際は税込み金額にてご入金をお願いいたします。

- 受講料のお振込みは開催日の一週間前までにお願致します。
- ご参加を取り消される場合は、開催日より3営業日(土日祝日を除く)前の17時までにて電話にて下記申込み担当者までご連絡下さいませよう願いたします。以降のお取り消しの場合は参加料の50%を、当日及び、無断欠席の場合は100%のキャンセル料を申し受けますのでご注意ください。
- 会員企業とは、FUNAIメンバーズPlus各種研究会にご入会中の企業様です。
- FUNAIメンバーズPlusにご入会中の企業様は会員価格にてご参加いただけます。(無料お試し期間を除く)

お申込方法

下記のFAX送信用お申込み用紙をご利用下さい。
お申込みを頂きました後、郵便にて受講票と会場の地図をお送りいたします。万が一、1週間前までにお手元に届かない場合は、下記担当者までご連絡下さい。

お振込先

セミナーご参加料は下記の口座に直接お振込み下さい。
三井住友銀行(0009)近畿第一支店(974)普通 No.5785611 口座名義：カ)フナイソウゴウケンキウウシヨ セミナーグチ
お振込口座は当セミナー専用の振込先口座でございます。 ※お振込手数料はお客様のご負担とさせていただきます。

お問い合わせ

明日のグレートカンパニーを創る
Funai Soken 株式会社 船井総合研究所
TEL 0120-964-000 (平日9:30～17:30)
FAX 0120-964-111 (24時間対応)
●お申し込みに関するお問合せ：浅井 ●内容に関するお問合せ：島崎



検【事務処理用QRコード】

※受講票の発送をもってセミナー受付とさせていただきます。

お問い合わせNo. S030190

1・2歳児向け未就園児教室改革セミナー

FAX:0120-964-111

FAXお申込用紙

【ご記入欄】

担当者：浅井

フリガナ 法人名	未就園児教室の状況 ☐ 母子分離型で実施している ☐ 親子参加型で参加している ☐ 実施していない	フリガナ 代表者	(役職：)
所在地	〒 -	代表TEL:	
		代表FAX:	
フリガナ 連絡担当者	所属・役職	携帯電話:	
		E-mail:	
参加者氏名	所属・役職	参加者氏名	所属・役職
フリガナ		フリガナ	
フリガナ		【園児数】	人

今、このお申し込み用紙を手になされている方は、間違いなく自園の永续に向けて真剣に取り組んでいる数少ない1人だと思います。そんな勉強熱心なあなたは今現在、経営状況等にどのようなお悩みをお持ちでしょうか？現状の課題をできるだけ具体的に整理してください。

上記の課題解決に向け、今回のセミナーにご参加される方に限り、無料個別経営相談を行います。(どちらかに○をつけてください)

☐ 当日、無料個別経営相談を希望する。(1企業様15分程度)
☐ 後日、無料個別経営相談を希望する。(1企業様1時間程度)【希望日】月 日頃

弊社会員組織(ご入会中の弊社研究会があれば○印をお付け下さい) ●FUNAIメンバーズPlus ●その他各種別研究会(研究会)

【個人情報に関する取り扱いについて】

1.申込用紙に記載されたお客様の情報は、セミナーのご案内といった船井総研グループ各社の営業活動やアンケート等に使用することがあります。(ご案内は代表者様宛にお送りすることがあります)法令で定める場合のほか、お客様の承諾なしに他の目的に使用いたしません。
2.お客様の情報管理につきましては船井総研グループ全体で管理いたします。詳しくはホームページをご確認ください。
3.セミナーのご案内時に、いただきました住所・貴社名・部署・役職・ご担当者氏名を船井総研グループが個人情報の管理について事前に調査した上で契約しましたダイレクトメール発送代行会社に発送データとして預託することがございます。
4.必要となる情報(会社名・氏名・電話番号)をご提供いただけない場合は、お申込のご連絡や受講票の発送等ができない等、お手続きができない場合がございます。
5.お客様の個人情報に関する開示、訂正、追加、停止又は削除につきましては、船井総研コーポレートトレーニングズ・顧客データ管理チーム(TEL06-6232-0199)までご連絡ください。
【個人情報に関するお問い合わせ】
株式会社船井総研ホールディングス 総務部法務課(TEL03-6212-2924)



明日のグレートカンパニーを創る
Funai Soken
ダイレクトメールの発送を希望しません ☐
※ご提供いただいた住所宛のダイレクトメールの発送を希望されないときは、☒を入れて当社宛にご連絡ください。